

東日本高速道路株式会社 北海道支社  
支 社 長 堀 圭一

## 質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

### 質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	場所打ち杭の掘削残土処理について 場所打ち杭の残土処理は、トマム団体線ずり置場へ運搬、敷均しとしてよろしいでしょうか。	ご認識の通りです。
2	コンクリートA1-3の数量について 数量明細表 コンクリートA1-3において、坑門工に156.7m <sup>3</sup> が計上されています。 この数量は、坑門工のどの部分でしょうか。	坑門工のインバート施工数量になります。
3	鉄筋A (E) の数量について 鉄筋A (E)において、数量明細表数量 : 31.925 t 、設計図面 鉄筋集計表 : 31.893 t となります。 どちらが正しいでしょうか。	設計図面 (70/90) 鉄筋の31.893tが正となります。
4	II期線掘削時における供用線に影響する覆工応力試算のため、I期線トンネルの覆工コンクリートの設計基準強度をご教示ください。	I期線の覆工コンクリートの設計基準強度は、18N/mm <sup>2</sup> となります。
5	鉄筋C (E) 数量について 数量明細表数量 : 3.384 t 設計図面 鉄筋集計表 : 3.429 t となります。 どちらが正しいでしょうか。	設計図面 (70/90) 鉄筋の3.429tが正となります。
6	鉄筋A1について 特記仕様書 28-5-3 鉄筋工 鉄筋種別表「継手の種類」において鉄筋A1は機械継手とされていますが、鉄筋図面から重ね継手と考えられます。 機械継手であれば継ぎ手数量を、ご提示ください。	特記仕様書28-5-3 鉄筋工 鉄筋種別表「継手の種類」において 鉄筋A1は、「重ね継手」が正となります。

番号	質問事項	回答
7	<p>設計図(トンネル工)の図面番号7/79「地質平面・縦断図(1)」の縦断図でK2T-1、K2T-2、H11-B1-15(99)の3箇所において調査ボーリングの実施されていることが確認できますが、平面図では実施位置が確認できません。平面図の実施位置をご教示ください。</p>	<p>地質平面・縦断図(1)に記載のとおり、K2T-1及びK2T-2はⅡ期線のセンター、H11-B1-15(99)はⅠ期線センターから左に25mの位置となります。</p>
8	<p>設計図(参考図)の図面番号16/18に「場所打ち杭施工計画図」があります。場所打ち杭と橋脚、橋台築造の際、作業場所への工事用道路は設計で計上されているのでしょうか。 それとも、受注後の協議になるのでしょうか。</p>	<p>現道を利用して施工することを想定しています。</p>
9	<p>金抜設計書：番号71(ずり処理工A1)について 概算工程表では串内橋下部工A1及びA2の施工期間は令和8年5月から11月中旬までとなります。 また、ずり処理工A1の施工開始は令和9年5月以降となります。 特記仕様書：23-1 工事の部分使用において、串内線下部工の部分使用開始時期は別途工事の施工のため令和9年4月下旬となっています。 特記仕様書：28-6-3 ずり処理工 (1) ずり処理工の種別において、ずり処理工A1の区分内容が串内橋A1及びA2までの運搬、裏込め工の敷均し、締固めとなっています。 裏込め工の敷均し、締固めは狩勝第二トンネル西工事施工業者が行うと考えてよろしいのでしょうか。 それとも、別途工事業者が行うのかご教示願います。</p>	<p>特記仕様書に記載のとおり、狩勝第二トンネル西工事にて施工を行います。</p>
10	<p>設計図(橋梁下部工) P4.5串内橋基本詳細設計REPORT00P22~27 設計図(橋梁下部工) P4.5には土質及びN値のみの土質柱状図で、串内橋基本詳細設計REPORT00 P22~27には、土質名及び深度、N値のみしか表示されていませんので、橋台A1、A2、橋脚P1~P4の詳細なボーリング柱状図(記事が記載されているもの)を開示していただけないでしょうか。</p>	<p>設計図書に記載の内容に基づきお考え下さい。</p>
11	<p>数量明細表：番号48(トンネル掘削(C I -a-1-B))の数量について 数量明細表において72,463.9m<sup>3</sup>と記載されています。 一方で閲覧(貸与)狩勝第二トンネル詳細設計 REPORT09(P4-2)において72,468.1m<sup>3</sup>と記載されています。 どちらが正しいのかご教示願います。</p>	<p>数量明細表の72,463.9m<sup>3</sup>が正となります。</p>

番号	質問事項	回答
12	<p>特記仕様書：28-6-7 フリッカ設備工について          フリッカ設備の容量は300Kvarと記載されています。          工事規模が同規模の狩勝第二トンネル東工事の公表されている積算内訳書から東工事のフリッカ設備の容量は900Kvarと思われます。          西工事のフリッカ設備容量は300Kvarでよいかご教授願います。</p>	特記仕様書28-6-7 フリッカ設備工に基づき計上願います。
13	<p>金抜き設計書：番号71 ずり処理工(A1)の数量について          ①数量明細表：番号71 ずり処理工(A1)においては2,116.1m<sup>3</sup>          ②設計図（橋梁下部工）：図面番号2/90 串内橋（下り線）数量表（その1）においては2,215.6m<sup>3</sup>          ③閲覧(貸与)串内橋基本詳細設計：REPORT17(1 ページ)においては裏込め工(B1)の合計数量が 3,428.6m<sup>3</sup>と記載されています。          上記①～③のうち、どの数量が正しいのかご教示願います。</p>	ずり処理工 (A1) の数量については、2,105.0m <sup>3</sup> が正となります。